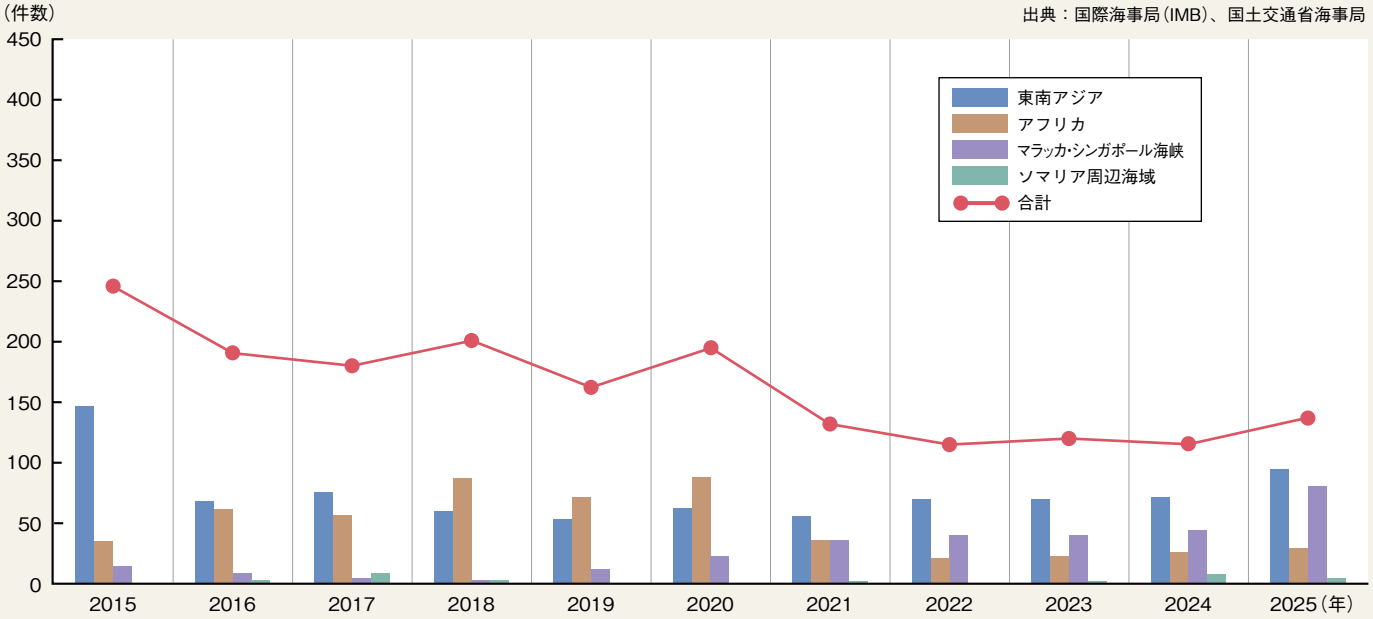
航行安全

1 最近の海賊等事案の発生状況

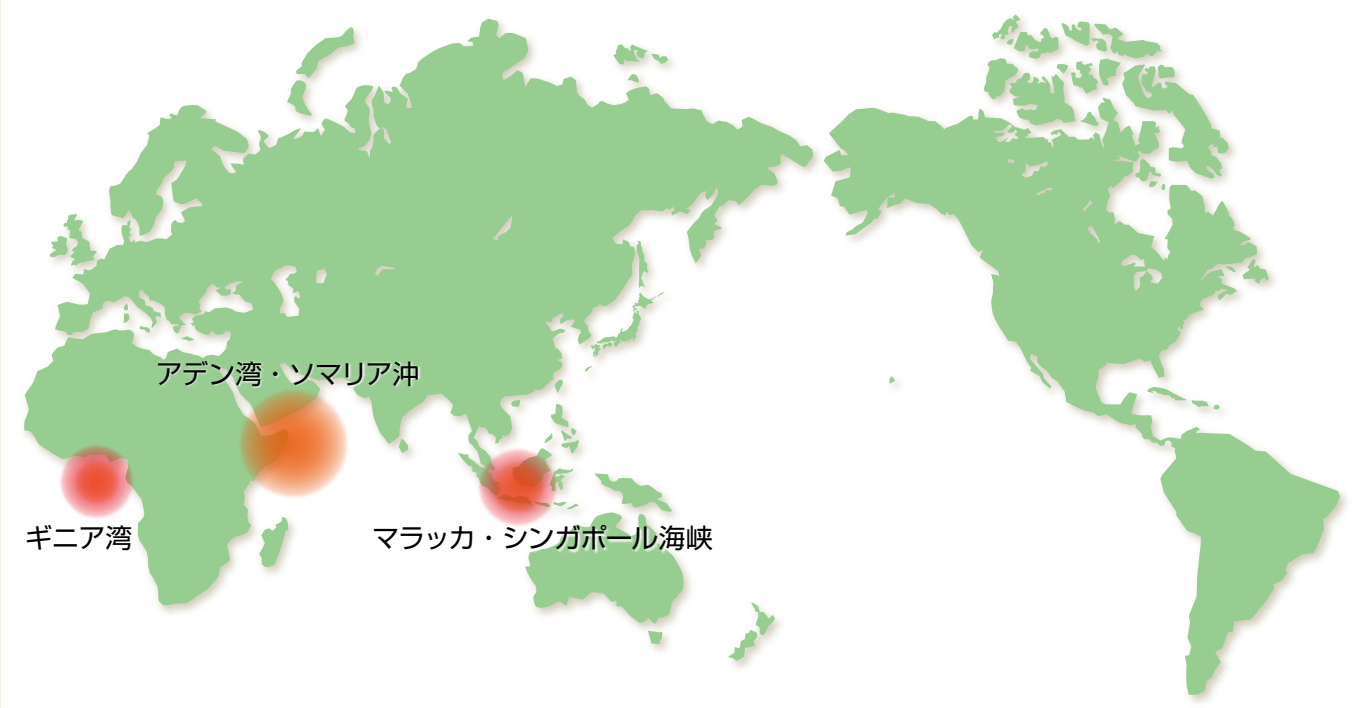
ソマリア周辺海域では、わが国の自衛隊派遣を含む各国共同の海賊対策の結果、海賊事案が減少しているものの、東南アジアや西アフリカ等世界各地で、海賊の脅威が依然存在する。

出典：国際海事局（IMB）、国土交通省海事局



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
東南アジア	147	68	76	60	53	62	56	70	70	72	95
アフリカ	35	62	57	87	71	88	36	21	23	26	29
マラッカ･シンガポール海峡	14	9	4	3	12	23	36	38	38	44	81
ソマリア周辺海域	0	2	9	3	0	0	1	0	1	8	5
合計	246	191	180	201	162	195	132	115	120	116	137
日本関係船舶	16	10	3	5	4	2	3	3	7	4	4

（注）①合計には、東南アジア、アフリカ以外の海域で発生した海賊等事案の発生件数も含まれる。
②マラッカ・シンガポール海峡の数字は、東南アジアの内数である。
③ソマリア周辺海域の数字は、アフリカの内数である。
④日本関係船舶（日本籍の外航船舶及び日本の船会社の運航する外国籍船）は、国土交通省の調査による件数である。

2 海賊等事案の発生場所

世界全体で、2025年は137件の海賊及び武装強盗が報告された。東南アジアでは、95件が報告され、前年より増加。
日本関係船舶の被害は、４件報告されている。